

令和7年10月5日執行

鶴岡市長選挙

選挙公報

若さが「きた!」にぎわいが「きた!」、
豊かさが「きた!」

鶴岡に未来がキタ!

① 増やそう! 若者!

●8年で若者を、1万人増やす

若者が、住みたくて仕方がない地域づくりを推進。

●空き家を魅力化! 若者向けに500軒解放!

藤島、羽黒、柳引、朝日、あつみの各地の空き家の改装を推進!

③ 稼ごう! 鶴岡!

●日本中の会社を、鶴岡に100社誘致

鶴岡の豊かさで創造的なシゴトができる環境づくり。

●AIとロボットで、シゴトをとことん楽に

誰でもわかりやすくAIやロボットを使いこなせるよう、指導員を100人体制で養成。市民の日々のシゴトを効率化。

⑤ つなごう! 鶴岡!

●出羽三山と伝統文化を次世代に!

修験道文化や各地の伝統文化、その基盤となる豊かな自然を、次世代に引き継ぐためのしくみを構築。

●後継者不足をまとめて解決!

一次産業、製造業、サービス業、各企業後継者を、東京の大手人材会社等と連携し、まとめて大募集! 解決。

② 子どもは鶴岡の宝!

●子育ては、全て無償化

保育費、副食費、遊び場、預かり、おむつ、ランドセル、全て無償化します!

●日本で一番、魅力的な教育

「致道館の魂」を引き継ぎ、旧町村の資源を活かしつつ、子どもの個性と主体性を伸ばす教育の聖地に!

④ 支えよう! 鶴岡!

●荘内病院と地域医療の担い手不足を解決

荘内病院を、もっと働きやすく。地域医療の担い手を、じっくり育成。鶴岡が好きで、働く医療従事者を増やす。

●過去最高にはたらきやすい市役所へ!

AIで徹底効率化。職員がやりたいシゴトに関わる時間を確保。



喜多(きた)こうすけプロフィール

1989年7月生まれ。2015年東大卒業、2020年慶大院卒。私は「親の壁」で悩み続けた経験から、人の夢と志を応援する教育事業に15年間打ち込み、3万人の心に希望の灯をともし続けてきました。こんな私だからこそ、この鶴岡市11万5千人の願いに寄り添い、子どもと大人が賑わう、希望溢れる鶴岡の未来を描き、つくっていきます。地元の人と外から来る人、歴史・文化・自然と新しい技術、新しいつながりを生み出し、「鶴岡に未来がキタ!!」と誇れる希望を創ります。



喜多(きた)こうすけ

対話でつくる市民の幸せ「DEWAビジョン」で鶴岡を前へ!

D 誰もが活躍できる多様性(ダイバーシティ)の鶴岡市

平成の大合併から20年。障がいのある人もない人も、性別にかかわらず、外国人も含めて、多様な6つの地域からなる鶴岡市全体で、市民の力を結集して市民党の市政を前に進めて行きます。

W 多様性の中で一層女性(ウーマン)、若者(ワカモノ)が活躍する鶴岡市

市の部長級、審議会の女性比率は3割超。市役所のみならず、地域、企業等の意思決定にもっと女性が参画。子育てしやすい、働きやすい、住みたい、移住したい街、鶴岡を私たちの手でつくります。

E 市民が主役! 住民主体の公正性(エクイティ)の鶴岡市

多様な市民の幸せのために働く、不偏不党の市役所への原点回帰。相手によって差別しない、排除しない。また、障害となっているものを取り除き、能力を発揮できるよう機会を公平にする市役所を目指します。

A 農業(アグリカルチャー)など一次産業、自然・歴史・文化を未来に継承する鶴岡市

成長を牽引する製造業、バイオ、観光によって、鶴岡市は大きく成長します。在来作物の種をつなぐ新プロジェクトを立ち上げるなど、一次産業と共生する街、料理人が世界中から訪れる街、鶴岡市をつくります。

「DEWAビジョン」実行のための3つの重点政策

県内トップ(6,800億円)の製造業が牽引し、一人当たり所得は県内2位324万円に。この伸び行く経済を、市民の豊かさを支える地場鶴岡産業の消費に向かわせる、すなわち農林漁業、観光業、食文化、サービス業などを支える経済政策を進めます。地域への更なる投資を呼び込みつつ、成長分野から生み出された付加価値によって、鶴岡の歴史や、文化、伝統的な産業を守る、成長の好循環をつくる、地域循環型経済・鶴岡モデルを確立します。

① 経済を前へ 県内トップ 9.9%成長の鶴岡を更に前へ

15ha新たな産業用地の開発 羽黒山千年御縁年・加茂水族館リニューアル 食文化 種を守るSCP(シード・コミュニケーション・プロジェクト)を創設 国探採 22億円地方創生 ガストロノミック・イノベーションを推進

② 暮らしを前へ 誰ひとり取り残さず命と暮らしを守る

高校生までの医療費の無償化を継続 地域包括ケア・重層的支援体制構築 読書のまち 学び 出会い 育つ みんなでつくる つるおか図書館 学校給食費の無償化を継続 食と農を結ぶ創造都市・発祥の地 新学校給食センター

③ 対話の市政を前へ

合併20周年 多様な6つの地域が共に発展するまちづくり 市民党 対話と住民主体のまちづくり 対立を越えて平和をつくる

政策は、過去・現在・未来。課題をしっかりとみつめ、現状をいかに改善し、未来を切り拓いていけるか。対話で、市民目線で、情熱と判断力で、数々の実績を生み出してきた政策の皆川おさむ。鶴岡をもっと前に。

選択1 多様な市民と対話するリーダーを選ぶ

東北一広い、多様な市民が暮らす鶴岡市の持続的発展には、市民の声を聴き、違いを越えて団結する市民党の市政が必要。また、住民主体のまちづくりを深く理解し、実行できる市民目線のリーダーが不可欠。鶴岡市には、対話と協働のリーダーが必要です。

選択2 政策の実行力のあるリーダーを選ぶ

市長には、政策をつくる力と同時に、その実行力が問われます。「できない」と言われていた旧ホテル雷屋を、略式代執行によって、国の補助を受け、費用を抑え撤去。また、旧鶴岡病院も、県と連携して撤去し、人工芝の多目的グラウンドの整備へ。鶴岡市には、市民のための政策を実行できるリーダーが必要です。

市長給与 3割カットを継続! 1期目、2期目に続き、

- 《プロフィール》
- 昭和49年10月3日 山形県鶴岡市生まれ
 - 大泉小、鶴一中、鶴岡南高、宇都宮大学農学部卒
 - 平成9年 農林水産省入省
 - 平成26年 農林水産省退職 故郷の鶴岡へUターン
 - 東北公益文科大学特任講師(平成26年5月～29年3月)
 - 平成29年10月 鶴岡市長就任(現在2期目)

皆川おさむ後援会 最新情報はこちら



皆川おさむ

トップが変われば まちが変わる! 佐藤さとしが掲げる6つの重点政策

プロジェクト① こども未来創造プロジェクト

▶子育て支援を充実

0～2歳児保育料を所得制限なしで無償化
一時保育施設や病児保育施設の増設促進

▶地域共創プレイパーク構想の推進

子育て世代の負担軽減と事業者の公平性を考慮し、既存施設を活用して、屋外を含む遊び場全般を整備
高齢者や大人の憩いの場としても活用



プロジェクト② 安全安心健康・住みよいまちづくりプロジェクト

- ▶医療・介護人材の確保
- ▶交通移動手段の充実



プロジェクト④ 産業競争力強化プロジェクト

- ▶「食」と観光のブランド化
- ▶中小企業の競争力強化



プロジェクト⑤ 行財政健全化プロジェクト

- ▶赤字財政からの脱却
- ▶ふるさと納税の倍増



プロジェクト⑥ ハラスメント撲滅都市プロジェクト

- ▶「パワハラは許さない!!!」
- ▶市長が率先して行動



佐藤 聡 プロフィール

1968年鶴岡市生まれ
2005年鶴岡市議会議員当選(3期連続)
2015年山形県議会議員当選(2期連続)
2021年山形県議会議員を辞職し、鶴岡市長選挙に出馬するも120票差で敗れる

停滞からふたたび前進へ!
あなたの一票を託してください!

佐藤さとしの
詳細はこちら

佐藤さとし 検索



この選挙公報は、鶴岡市選挙公報発行に関する条例に基づき、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

鶴岡市選挙管理委員会